

掲載をご希望される方は
お問い合わせください

問合せ 総務課情報グループ
☎ 2511

教えてください

あなたの夢

— Vol.10 —

「やってみたい」が自然に生まれる地区

世代を超えたつながりの中で



安平地区まちづくり協議会

今回は、安平地区まちづくり協議会の皆さんにお話を伺いました。

安平地区は町内の中心に位置し、自然環境に恵まれた地域で、近年は移住者も増加している一方、町内で最も高齢化率が高い地区でもあります。

安平地区まちづくり協議会は、こうした状況や安平小学校の閉校を背景に、地域の交流や人とのつながりが希薄にならないようにすることを目的として設立され、今年で4年目。

「イベントに地域の方が多く集まって楽しんでいる様子を見たり、イベントを通して顔見知りが増えることで、お互いが助け合える関係が生まれていることが嬉しいです。今後はイベントや行事だけではなく、全世代が日頃から交流できる場所をつくったり、まちづくり協議会が拠点となり、何かをやってみたいと思う人が自然に増える地区になってほしいです」と素敵な夢を教えてくださいました。

課題として、活動に関わる人がまだ十分とは言えないとのこと、構成員の募集を行っています。

興味のある方は一度、安平地区まちづくり協議会（☎ 2034）へご連絡ください（安平公民館に電話がつながりますので「安平地区まちづくり協議会へのご用件」とお伝えください）。

編集者コラム

「春の訪れ、水芭蕉」

総務課情報グループ

中崎 凌

あびら5月号表紙は「富岡みずばしう園」で撮影した一枚です。夢中でシャッターを切っているうちに、気づけば靴は泥だらけになっていましたが、メインの水芭蕉とABEERKEマーク、背面に流れる小川や奥に咲く水芭蕉なども画角に入れることができ、本格的な春の訪れを感じられる一枚になりました。

撮影は平日の昼間に行いましたが、駐車場には札幌ナンバーの車もちらほら。

発行時には見頃を過ぎているかもしれませんが、みずばしう園には多くの木々が植樹されており、四季折々の風景を楽しめます。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

また、ABEERKEマークと町内の風景を共に撮影した写真を、今後も表紙としてお届けする予定です。こちらも引き続きお楽しみください。

